

以上、簡単ではございますが、私のご挨拶とさせていただきます。

出席報告

星川俊輔 幹事



ニコボックス
報告

大野 広
委員長



卓話 玉野 英美ガバナー



皆さん改めまして、こんにちは。本日は貴重なお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。各務原ロータリークラブ以外の3クラブの皆様にかかれましては、合同の観桜例会にお邪魔させていただき、お世話になりありがとうございました。

先ず今年からRIは、テーマではなくメッセージに変わりました。前まで会長一人でテーマを決めておりましたが、本年度からRI理事等も加わり「UNITE FOR GOOD 良いことのために手を取りあおう」というメッセージが掲げられました。

そのメッセージを受け、私から今年度の地区へのメッセージとして「RISE with ROTARY 地区と地域の未来を考えて」といたしました。これは、皆さんでこの地区を盛り上げていただきたい、立ち上がろうという思いを込めて、このメッセージとさせていただきました。



年度替わり、計画書作成の時期には大変ご苦労をおかけしましたが、6月の4日マリオ会長エレクトが突然辞任をされ、6月14日にフランチェスコ・アレツォ氏がRI会長に指名されました。わずか2週間でこの方に変わられました。

2月の国際協議会に行った際お会いする事が出来ました。

フランチェスコ・アレツォ RI会長



国際大会(カルガリー)現地時間 6月22日 AM8時頃 日本人朝食会にて撮影



この方は

「誰にでも引き出しにしまっている多くの夢があります。それを1つに繋げましょう。

ワクワクするような

そして私たちをつなげ、世界を変えるようなひとつの大きな夢を作りましょう」

このようなメッセージを発言しています。

そして「UNITE FOR GOOD 良いことのために手をとりあおう」というメッセージは、引き続き提唱をされることとなりました。

そしてRIとしては、このアレツォ RI 会長が、ユン・サングさん（韓国）を、会長エレクトに指名されましたが、半年間闘病生活をするとする事でした。しかしこの方も8月11日に予想せぬ辞任をされ、その後9月の5日にご逝去されました。すい臓癌だったそうです。半年間の闘病生活後、4月から10月まで少し休み、そしてその間会長になるため『エレクトとしての再開は10月以降に！！』と言う力強いメッセージをいただいておりますが、残念なことにご逝去されました。



その代わりに、オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏 ナイジェリア、トランス・アマディRC所属の方が、次年度のRI会長に指名されました。

次にRIの現況をお話させていただきますと、ロータリーの行動計画は2018年から変わっておりません。ロータリーの行動計画4つ

- ・より大きなインパクトをもたらす
- ・参加者の基盤を広げる
- ・参加者の積極的な関わりを促す
- ・適用力を高める。

この4つの行動計画は引き続き継続していきますので、どうぞよろしくお願いたします。



それから3年ぶりに規定審議会が行われました。

7月13日から17日までアメリカのシカゴで開催し、2630 地区からは木村バーストガバナーが参加をされ

ました。

その中でいくつかの改定点を発表させていただきます。先ず人頭分担金が今年度は82ドル、次年度が85.5ドル、2028年度には93ドルと年々上がっています。大体3ドルぐらいは毎年上がることが決定いたしました。因に約10年前2015年、16年は55ドルでした。円安もありましたが、昔から比べると倍ぐらいになっております。物価高の中、申し訳ありませんが決定されました。

3年ぶりの規定審議会 2025年4月13日～17日 INシカゴ

注目の改定点

① 人頭分担金	2025～26年度 82ドル 2026～27年度 85.5ドル 2027～28年度 89.26ドル 2028～29年度 93ドル
② 地区大会の開催	改正)地区大会を開催しなければならない、とされているのを、開催することができる、改める。
③ 会長エレクト研修セミナー (PETS) と地区研修・協議会の名称変更	会長エレクトラーニングセミナー (PELS) クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー

次に地区大会の開催について。

今までは地区大会を開催しなければならないとされていましたが、地区大会を開催することが出来る、と改められました。私の年度は地区大会を行います。次年度以降は場所によっては地区大会をしないという事が起こるかもしれません。今現在河合ガバナーエレクトも、中西ノミニーも地区大会を開催すると発表されております。

会長エレクトセミナー (PETS) と地区研修・協議会も名前が変更になり、会長エレクトラーニングセミナー (PELS)、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーと改正されました。

要は研修からラーニングに変わったということです。全てそういう風になりました。略すとペルスと省略されます。

地区研修協議会 (地区協) もクラブ・リーダーシップ・ラーニング・セミナーということで、こちらも研修からラーニング (研修) に改名。ただ単に皆聞くだけです。ラーニングだから皆で一緒に考え、意見も聞きながらラーニング方式に色々変わると聞いております。

以上でRIの現状報告をさせていただきます。

玉野英美とは

- ・昭和44年4月5日生 現在56歳 三重県いなべ市生
- ・メリノール女子学院(現在・四日市メリノール学院)卒業
- ・中京女子大学・短期大学部・体育学科(現在・至学館大学)卒業
- ・三岐観光サービスに入社 3年半後退社
- ・たどトラベルサロン・入社(設立代表が10年後に病床2ヶ月で他界)
- ・たどトラベルサロン・事業承継(承継後21年目・現在に至る)
- ・2007年1月に桑名北ロータリークラブ入会・現在に至る
- ・2022-23年 桑名北ロータリークラブ・クラブ会長
- ・2023年11月末にガバナーへの打診・・・断り続けるも、2024年2月に熟考の上承諾・・・現在19年目のロータリアン



続いて私の自己紹介をさせていただきます。昭和44年4月5日生、現在56歳です。三重県いなべ市生まれです。短大を出て、現在は旅行会社を経営しております。ロータリークラブに入会したのは2007年1月、現在19年目に入り、2022年に会長をしました。2023年11月に突然ガバナーの打診があり、3ヶ月ほど断り続けましたが、クラブの皆さんと相談し2024年2月に考え抜いてお引き受けを致しました。



4月のクラブ活性化セミナーで発表させていただいたり、5月10日会員増強セミナーでは『第2630地区は銀河鉄道2630』であると亀井委員長のお言葉を受け、メーテルになり皆さんを乗せ、途中下車しないでくださいと発表をさせていただきました。地区活動方針としましては、RIからのメッセージ「よいことのために手を取りあおう」の推進と、地区活動方針メッセージ「RISE with ROTARY」を理解し奉仕を実践していただきたいと思います。RI戦力計画の推進、職業奉仕の理念についての再認識等を述べさせていただいていますので、是非とも地区へのご協力もよろしく申し上げます。そして私の年度も、会員増強は最優先事項の一つだと思っております。

会員が増えれば色々な奉仕活動が沢山出来る、そして奉仕活動を行うことによって公共イメージがアップする。

地区活動方針

- ・RIからのメッセージ「よいことのために手を取りあおう」の推進と地区活動方針メッセージ「RISE WITH ROTARY」を理解し奉仕を実践する
- ・RI戦略計画の推進
- ・職業奉仕の理念についての再認識
- ・公共イメージ向上をクラブ関連委員会との連携
- ・会員増強基盤の強化・会員維持・DEI推進・クラブ拡大の推進
- ・奉仕プロジェクトの推進とクラブへの理解と意見交換
- ・青少年育成の推進及び地域社会での奉仕活動の充実
- ・ロータリー財団補助金の積極的な活用と寄付の理解
- ・米山記念奨学生への参加と支援



公共イメージと認知度の向上

「ロータリー」は知られていると思いますか？
「ロータリー」の活動やその成果は知られていると思いますか？

公共イメージが向上することによって、人が集まり 注目され 活性化し 魅力あるクラブへ そして居心地の良いクラブへ

ロータリーの素晴らしさ 理念も伝える。ポリオ根絶まで あと少しも伝える。そして、ロータリーがもたらす地域社会への影響も伝えて下さい！



7月12日郡上の公式訪問にお伺いした際、白鳥踊りを郡上長良川RC企画で開催するとの事で、25日金曜日フェスに参加させていただきました。

白鳥踊りは初めてでしたが、とても明るくそしてテンポが速く、割と最後の方走り回るような踊りでした。黄色い手ぬぐいと、足元に付けるピカピカ光るアクセサリーを、地区補助金で活用してみえました。白鳥踊り保存会の方たちが高校生へ、踊りや太鼓、歌など全てレクチャーをして保存会の方が歌ったりしていましたが、最後の30分間は高校生が上に乗って踊るなど試行錯誤のイベントでした。この様なイベントは、地域にもアピールになると思います。それから、志摩 RC では、志摩市と商工会、建設業協会、ライオンズとコラボして、『地域と繋がろう』と題し地区補助金を活用したオータムコンサートを開催されます。この様に市や違う企業主とコラボすると、それも宣伝効果に繋がると思いますので、良かったら考えてみてください。

伊勢渡会 RC
後援：伊勢市・伊勢市教育委員会
地区補助金活用



土岐 RC
IACが箱のデザイン発案
地区補助金活用

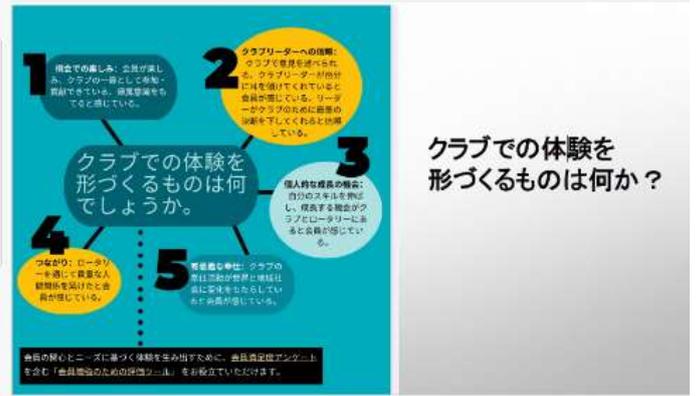


伊勢渡会 RC は 17 人のメンバーですが、毎年地区の補助金を活用されています。今年度はこの百科事典ワークショップを開催する予定です。先程も活字離れが話題にありました様に、今百科事典を聞くことが本当に少ないと思います。携帯やパソコンで調べる時代、活字離れを見越しこの様なワークショップを小学校で開催するとのことです。

毎年、様々なアイデアが浮かんでくると思います。そんな大きな事業をしなくてもいいと思いますが、小さい事業だとクラブの運営で全て出来てしまう。しかし会費を使い切ってしまうと、補助事業に回すお金も無くなっていくなど課題もあるかと思しますので、是非地区補助金の活用をお願いします。

それから、『クラブでの体験を形づくるものは何か』ということで、先ほどの懇談会でも仰って見えたことが、例会が楽しいから皆さん来ることと、つながりがある事。

クラブで体験を形づくるものは何か？



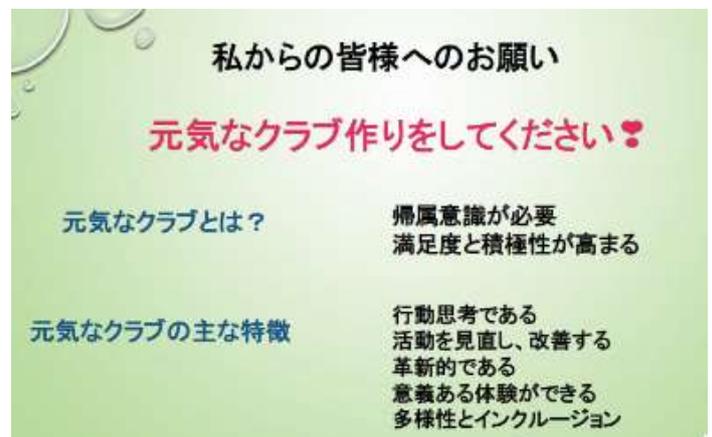
ポリオ根絶の活動も、イベントを立ち上げる事もそうだと思いますが、会員が楽しんでクラブの一員として参加・貢献できている。そして帰属意識を持つと感じている。クラブリーダーへの信頼、クラブで意見を述べられる、自分の意見に耳を傾けてくれていると会員が感じている。

会長幹事においては、色々な会員の意見を聞いてフィードバックしていただければと思います。

個人的な成長の機会が自分のスキルを伸ばし、成長する機会がクラブとロータリーにあると会員が感じているという事。そしてロータリーに参加することで成長し、自分のスキルがアップする事で会員の満足度が上がると思います。

つながりという事では、ロータリーを通じて貴重な人間関係を築けたと会員が感じている。またクラブ同士の繋がりや、地域との繋がりがあるとの事で引き続き大切にしたいです。

有意義な奉仕や、クラブの奉仕活動が地域社会に変化をもたらしていると、会員が感じている。そして奉仕活動が有意義であれば、クラブとしての満足度も上がり、地域に与える影響も大きいと感じ、クラブも盛り上がっていくと思います。



私から皆様へのお願いですが、元気なクラブ作りをしてください！

これはPETSや協議会でも話しましたが、元気であるという事は会員の皆様も盛り上がりやすく、帰属意識を大切にしてくださいと、満足度と積極性が高まると考えます。

元気なクラブの主な特徴として、

- ・行動志向である
- ・活動を見直し、改善する
- ・革新的である
- ・意義ある体験ができる
- ・多様性とインクルージョン

という事で、どのクラブも同じように行動志向であり、色々な行動をしていただいていると感じます。また財団の補助金を使って、地域に根差した活動をしていただいていると感じました。

元気なクラブ作りのために

1. 3～5年後のクラブを思い描きましょう。
2. 年次目標を決めましょう。
3. 情報豊かで会員の積極性を促すような例会を実施
4. クラブでのオープンなコミュニケーションを奨励しましょう
5. リーダー後継者を育て、円滑な移行を図る
6. クラブがインクルーシブになるよう、クラブ細則に手を加える
7. 会員同士のつながりを強めましょう。
8. 会員がスキルを磨ける機会を提供しましょう。
9. 全会員がリーダーシップを発揮できる方法があることを強調しましょう。

私から皆様へのお願いで、元気なクラブ作りをしていただきたいと思います。続意識が必要だと思います。戻ってくる場所があるといった続意識が必要だと思います。

そうする事で、満足度と積極性が高まると思います。やはり元気なクラブの場合、クラブ内の満足度が高いと思います。その為には、笑顔が必要だと思います。やはり笑うことは大事だと思います。たまには活動を見直し、毎年一緒ではなく新たな活動を得るようにやっていただきたいと思います。

先の事、数年後の自分のクラブがどうなるのか思い描きながら、マネージ目標や例会の内容を考えたりしていただきたいと思います。オープン例会もされたクラブもあります。そのオープンなコミュニケーションを推奨して下さい。しかしそれがイコール、入会に結びつかなくても、仕方がありませんので続ける事が大事だと思います。引き続きオープンなコミュニケーションを推進して下さい。

最後にマイロータリーの登録をお願いしたいと思います。今年の5月に携帯からラーニング専用のアプリも出来ました。無料ですのでアプリを入れて行って下さい。

主役は各クラブです。ガバナー私と、ガバナー補佐、そして地区委員会の皆様が、各クラブ皆さんをサポートします。地区の皆様でワンチームとなって、この第2630地区を盛り上げて頂きたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。



9月20日(土)

東海北陸道グループ

インターシティミーティング

会場：アピセ関

開式：14時00分点鐘

講師：関鍛冶伝承館学芸員 加藤 さよ 様

テーマ：「温故知新～文化の継承～」

演題：「受けつがれる匠の技、伝統技法、
刃物文化の魅力」

